



2000<sup>ねんご</sup>年後の  
なつやす  
夏休みアート・ワークショップ  
わかやま はくつ  
和歌山を発掘しよう！

「なつやすみの美術館 8 タイムトラベル」出品作家の柴川敏之さんによるワークショップが開催されました。ワークショップの内容と制作された作品を紹介します。

2018年

8月19日 

場所：美術館玄関前広場

時間：13:00-16:00

※台風のため最初の日程から延期して開催しています。



「インディ・ジョーンズ」のテーマソングによって、2000年後の発掘作業から戻ってきた柴川さんが登場。



柴川さんが発掘した 2000 年後の遺物に興味津々。



今日の発掘現場はこちら



担当の場所について、発掘作業をはじめます。











帆布に青インクのローラーを転がして、遺物のかたちを浮かび上がらせます。







発掘完了！掘り出したかたちと遺物を見比べます。なんと 2000 年後の和歌山は水の中に沈んでいました。寛永通宝を和歌山城の位置に見立てて、いろいろなものがかたちを組み立てていたのでした。







発掘作業を終えて、展示室でタイムトラベル。柴川さんから 2000 年後の発掘品についてうかがいます。そして展示室から出ると発掘現場が壁に飾られていました。





最後に柴川さんから「2000 年後の地球はサビサビが良い？青いのが良い？」という問いかけが。全員が青い地球を選びました。

2000 年後に青い地球を残せるよう考えてほしいという思いを伝えて、ワークショップを終えました。

